

第2回忍性さん勉強会概要報告

- ◇ 開催日時 平成28年6月21日(火)19時～22時
- ◇ 会場 奈良教育大学次世代教員養成センター モデル教室
- ◇ 参加者 石田・袖川(済美小)、今井(済美南小)、山下(伏見小)、駿河(西大寺北小)
北村・中澤(奈良教育大学)
- ◇ テキスト 『忍性』松尾剛次、ミネルヴァ書房、2004年

1. 忍性のどういったところを子どもたちに伝えたいか。(グループワーク)

- ①歩けないハンセン病者を自ら背負って、奈良の市に送り迎えした。(44頁)
雨の日も風の日も、忍性は朝、背負って奈良の市に連れていき、乞食をさせ、夕方には奈良坂に連れ帰った(44頁)
- ②十種の大願(124頁)
忍性さんの行動の基準を表しており、子どもたちに自分と比較することで、生き方を考えさせたい。道徳に使える。
- ③叡尊が忍性のことを「慈悲に過ぎた」「学問はさしたることはなかったが～」(198頁)
勉強は大切だが、それよりも大切なものもあるということを考えさせたい
- ④土の中の生き物を殺すことになるので、戒律では禁止されていたが、忍性は慈悲を優先し、土木作業もおこなった(211頁)
ルールを守ることよりも、大切なこともある
- ⑤忍性は常に厩を訪れ、仏名を唱えて聞かせた。馬の首には、真言札を付けたという。忍性の救済の手は馬にまで及んだのである。(167頁)
- ⑥文殊菩薩が、孤独の非人の姿となって現れ、慈心をもって福業(福祉事業)をなそうとする者か否かをためす
- ⑦極楽寺におけるハンセン病患者の救済、浜の管理、道路、橋の維持(公共福祉事業)

2. 協働取り組み

絵本では、奈良でのことしか描かれていません。ただし、アニメDVDでは筑波、鎌倉以降のことも描かれています。児童の調べ学習を考えた場合、奈良での調査に限られると思われますので、奈良以外の資料については、先生方で作成する必要があります。みんなで作って、4校で利用してはどうでしょうか。(旅費は支給できます)

資料：写真、ムービーメーカー(ビデオ)、文字資料

テキスト第2章 香取の海 - 常陸三村寺と忍性：北村先生担当

第3章 生身の菩薩 - 都市鎌倉と忍性：今井先生・中村先生担当

その他 十念寺 石田先生・袖川先生

北山十八間戸

3. アプローチの方法

済美小学校 5年生：世界遺産学習の一環で、東大寺と関連付けて取り扱う

済美南小学校 5年生：世界遺産学習の一環

6年生：社会科の学習で
伏見小学校 4年生：社会科の郷土の開発単元か道徳で
西大寺北小学校 5年生：ドリームマップ（将来の夢やつくりたい社会像）作製にあたって、ひとつの資料として忍性を扱う

4. 今後の予定

※7月4日（月）DVD贈呈式：伏見小学校

その他の学校については、奈良国立博物館から贈呈される予定です。

※8月末には、次のような指導案が出来上がっているという、計画で進んでください。

(1) 単元名

(2) 単元の目標

(3) 単元について

- ・教材観：忍性さんを通して、何を教えたいのか。忍性さんのどんなところを伝えたいのか等。
- ・児童観：勉強を開始する前の児童の状況把握（特に忍性さんに関連して）
- ・指導観：指導上の工夫とそのような指導方法を選択する理由

(4) 単元の評価規準：昨年8月に文科省から出された「育成すべき資質能力「三つの柱」」で評価規準を作成してみてもはどうでしょうか？

①個別の知識・技能「何を知っているか、何ができるか」

各教科等に関する個別の知識や技能などであり、身体的技能や芸術表現のための技能等も含む。基礎的・基本的な知識・技能を着実に獲得しながら、既存の知識・技能と関連付けたり組み合わせたりしていくことにより、知識・技能の定着を図るとともに、社会の様々な場面で活用できる知識・技能として体系化しながら身に付けていくことが重要である

②思考力・判断力・表現力「知っていること・できることをどう使うか」

問題を発見し、その問題を定義し解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、プロセスを振り返って次の問題発見・解決につなげていくこと（問題発見・解決）や、情報を他者と共有しながら、対話や議論を通じて互いの多様な考え方の共通点や相違点を理解し、相手の考えに共感したり多様な考えを統合したりして、協力しながら問題を解決していくこと（協働的問題解決）のために必要な思考力・判断力・表現力等である。

特に、問題発見・解決のプロセスの中で、以下のような思考・判断・表現を行うことができることが重要である。

- ・問題発見・解決に必要な情報を収集・蓄積するとともに、既存の知識に加え、必要となる新たな知識・技能を獲得し、知識・技能を適切に組み合わせ、それらを活用しながら問題を解決していくために必要となる思考。
- ・必要な情報を選択し、解決の方向性や方法を比較・選択し、結論を決定していくために必要な判断や意思決定。
- ・伝える相手や状況に応じた表現。

③学びに向かう力、人間性等「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」

上記の①及び②の資質・能力を、どのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素であり、以下のような情意や態度等に関わるものが含まれる。

- ・主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力や、自己の感情や行動を統制する能力、自らの

思考のプロセス等を客観的に捉える力など、いわゆる「メタ認知」に関するもの。

- ・多様性を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなど、人間性等に関するもの。

(5) 単元展開の概要 (全○時間)

| 主な学習活動 | 学習への支援 | ◇評価 ・備考 |
|--------|--------|---------|
| 1. | | |
| 2. | | |

本時案はいりません

※次回は、8月9日(火) 10時～12時 奈良教育大学次世代教員養成センター2号館モデル教室

テキストをしっかりと読んで、忍性さんに関する理解を深める。子どもたちに伝えたいことをさらに見つけてください。その共有をします。

忍性さんが修復したり、つくったりした建造物についてピックアップしてくる(特に奈良県内)。教材開発に行かれた方は、写真資料や手に入れた資料をご持参ください。